

# 9月定例会一般質問

# 地域ぐるみの鳥獣害対策に市の支援を



## 米原市民報

日本共産党米原市議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党湖北地区議員団  
事務局藤田正雄 Tel.55-1128

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

米原市民報等で議会で議論や様子を伝えていきます。地域の皆さんから、獣害に困っておられる地域の方々からのご意見や要望をいただいています。特に近江地域ではニホンザルの被害についての相談が増えています。そこで今号は、民報ではあまり紹介できなかった獣害対策の問題について、9月議会の一般質問、市の広報、専門家の意見聴取などを参考に、具体的に述べていきます。

### ニホンザルの被害は深刻

地域のみならずが、一番困っておられるのは、ニホンザルの被害です。集団で現われ、畑などの収穫物を盗んだり、家に入り込んで荒らしたりするからです。しかも知能が高いため、容易に捕まえることができません。

### 対策の現状

ネットやフェンスなどの物理的障壁、ロケット花火の追い払いなどの心理的障壁を利用した対策などが多くの地域で取組まれているのですが、なかなか被害が減らないのが実態です。

### 被害が減らない理由

被害の発生理由や被害を減らす行動に関する基本的な知識や技術が、住民や行政に十分普及していないので、被害を減らす対策ができていない場合がほとんどです。

### 基本対策となる知識や技術

**対策1 (個人の対策)**  
農地や集落にあるサルは食物になるものをできるだけ減らす。網や柵などでサルに農作物を食べられないようにする。また、柿の木は網をかぶせるか、伐採するなどサルに実を食べられないよう、対策する。

**対策2 (地域の対策)**  
サルが出没すれば、でき

るだけみんなで追い払う。中途半端な追い払いでは逆効果でしつこく追い払う。ネットや徹底した追い払いなど、粘り強く行う。

経済環境部の答弁では高齢者が多い地域でのサルの追い払い対策について地域ぐるみの取組が大切であり、在宅の高齢者をいかに地域ぐるみの取組に参加していただくが重要となる。地域の中で高齢者が目撃情報の提供や追い払いに参加されるなど、一定の役割を果たしている。

### 対策3 (行政の対策)

行政は、研修などを通してサルの被害対策の知識と技術の提供と、被害発生への迅速な情報提供を行う。そのことを通して、地域住民が被害対策に必要な知識と技術を共有し、自分たち自身で効果的な被害対策を実施する手助けをする、経済環境部の答弁では、出前講座の実施、リーダー養成講座の開催など、地域の皆さんとともに考え実行するための支援するとしている。

### サルが出て来れない状況を

サルは自分たちに不利益な状況が多くなると里には出てこない。里に行ってもあまり食べられないし、い

いことではない。犬や人に追いかけられたりしてつらいことばかりだと思わせることができれば、里に出てこないようになる。すぐ近くの山にサルがいても、里には出てこないという状況を

### 有害鳥獣の駆除

市のホームページではニホンザル、ニホンジカ、イノシシなどによる農作物および生活環境被害等の防止のため、市内全域の山間部を中心に、有害鳥獣の駆除を実施しています。

### カラスやワウサギの駆除

作物、水産物、生活環境被害防止のため、3月1日から3月31日までの期間、市内一円において猟銃を使用したカラス、カワウ、アオサギの駆除を実施します。

### 有害鳥獣の捕獲を希望される場合、自治会等、市が認める団体等からの要望に限り、実施条件を遵守いただいた上で捕獲等の実施を検討します。詳しくは、伊吹庁舎林務課5812229まで。

自治会への支援活動  
有害鳥獣の捕獲を希望される場合、自治会等、市が認める団体等からの要望に限り、実施条件を遵守いただいた上で捕獲等の実施を検討します。詳しくは、伊吹庁舎林務課5812229まで。



### お詫びと訂正

米原市民報第636号で、「市長給与減額条例は、賛成15人、反対2人（磯谷議員、松宮議員）」と記しましたが、「賛成14人、反対3人（磯谷議員、松宮議員、中川松雄議員）」と訂正し、お詫び申し上げます。